

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	障害者スポーツ・レクリエーション事業				事務事業コード	02803	
部名	福祉部	課名	障害福祉課	係名	障害福祉係	部課コード	040150

1. 事業概要

総合計画コード	2312				
事業年度	H 4 年度 ~ H 年度	事業類型	<input checked="" type="radio"/> ソフト事業 <input type="radio"/> ハード事業		
法令等の義務付け	<input type="radio"/> 法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 <input type="radio"/> 義務と任意の両方を含んでいる事業 <input checked="" type="radio"/> 任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務		<根拠法令等(法律、条例、要綱など)> 障害者総合支援法		
めざす目的成果	スポーツ、レクリエーションを通じて障害のある人が楽しく社会参加することができる。				
事業内容	①毎年、9月下旬に総合体育館のメインアリーナで、障害者スポーツ大会を開催する(名称:ふれあいスポーツ大会)。 ②障害のある人の体力増強、交流、余暇等に資すること及びスポーツを普及することを目的として、障害のない人も含め、多くの方が参加でき、交流が図られる「スポーツ・レクリエーションの集い」を実施する。				
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市の完全な直営 <input type="checkbox"/> 委託等(請負、負担金、交付金等を含む)		<input checked="" type="checkbox"/> 市民等との協働 <input type="checkbox"/> 補助金交付		
	①ふれあいスポーツ大会は、市が実施主体となり、各障害者団体、民生委員などから役員を選出、また、ボランティアも参加して市民と協働で実施している。②スポーツ・レクリエーションの集いは、平成28・29年度は、県事業による「指導者の資質向上のための講習会・研修会の開催に関する事業」を朝霞市で行うこととなっており、予算措置を要しない。平成30年度以降は、市が実施主体となる。				

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容		①ふれあいスポーツ大会は、9月25日(日)に総合体育館(メインアリーナ)で実施。競技種目は、個人競技1種目、団体競技5種目、オープン競技3種目の合計9種目。 ②スポーツ・レクリエーションの集いは、7月2日(土)にはあとぴあ(アリーナ)で実施。					
		単位:千円	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算見込		
投入コスト	a 事業費[イ]~[ホ]		659	604	387		
	財源内訳	[イ]国庫支出金	189	173			
		[ロ]県支出金	94	86			
		[ハ]地方債					
		[ニ]その他					
		[ホ]一般財源	376	345	387		
b 人件費		3,664	4,030	2,565			
総コスト(a 事業費 + b 人件費)		4,323	4,634	2,952			
投入労働量		常勤職員等(人工)	0.50 人	0.55 人	0.35 人		
		一般職非常勤職員等(時間)	時間	時間	時間		
a 事業費(H28年度決算見込)の執行内訳		① ふれあいスポーツ大会 327千円 1.障害者スポーツ指導者協議会指導員謝金 12千円 2.障害者スポーツ大会参加者記念品代 97千円 3.消耗品費 11千円 4.食糧費 134千円 5.傷害保険料 73千円 ② スポーツ・レクリエーションの集い 0千円※予算措置を要せず ①・②に属さないものとして、埼玉県障害者スポーツ協会負担金 60千円					
指標名		単位	H28目標・計画 (H28実績見込)	H29目標・計画 (H29実績見込)	H30目標・計画 (H30実績見込)	最終目標・計画 目標年度	
活 動	①	ふれあいスポーツ大会開催回数	回	1 (1)	1 (—)	1 (—)	H 32 年度
	②			()	(—)	(—)	H 年度
成 果	①	ふれあいスポーツ大会参加人数	人	300 (280)	300 (—)	300 (—)	H 32 年度
	②			()	(—)	(—)	H 年度

3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	<input type="radio"/> A 必要性が高い	<input checked="" type="radio"/> B 必要性がある程度認められる	<input type="radio"/> C 必要性が低い
	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、市に実施が義務付けられている <input type="checkbox"/> 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい <input checked="" type="checkbox"/> その他 <説明> ふれあいスポーツ大会については、長年実施している事業であり、これまでどおり計画段階から障害者団体(市民)の主導型として意見を伺いながら実施していくが、団体の特性上、市が事務局として関与していく必要がある。 スポーツ・レクリエーションの集いについては、県事業が平成29年度までとなっているため、平成30年度から市で実施していく必要がある。			
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	<input type="radio"/> A 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="radio"/> B 概ね目標の成果が得られた	<input type="radio"/> C 目標とする成果が得られなかった
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 成果指標の目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 指標に表れない事項について目標を達成した <input type="checkbox"/> その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> ふれあいスポーツ大会については、前年と比較し、学生ボランティアの人数や障害のある人の家族などが増加したことにより、全体の参加者数が増加したが、成果目標には達しなかった。 スポーツ・レクリエーションの集いについては、平成28年度は県事業であるため指標の設定はしていないが、185人の参加があり、一定の成果が得られていると思われる。			
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入>			
	・思いやり: 障害者差別解消法などにに基づき、障害のある人に配慮した。 ・参加と協働: 障害者団体や障害者プラン推進委員会などから、障害のある人に関する施策などの意見を伺った。 ・経営的な視点: 事務改善等による効率的な事務の実施を検討した。			
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定	<input type="radio"/> I 見直す余地がない	<input checked="" type="radio"/> II 見直す余地がある程度認められる	<input type="radio"/> III 見直す余地がある
	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 受益者負担のあり方について見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある <input type="checkbox"/> その他 <説明> ふれあいスポーツ大会については、障害者団体(市民)の主導型としていることから、事業内容、実施手法等は障害者団体と協議して進めていく必要がある。 スポーツ・レクリエーションの集いについては、平成30年度から市が実施していくにあたり、事業内容、実施手法等を具体的に検討していく必要がある。			

4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> A 市で継続実施 <input type="radio"/> B 休止・廃止 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> C 民営化 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> D 国・県に移譲 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> E 終了 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度まで <input type="checkbox"/> H29年度まで <input type="checkbox"/> H30年度まで)			
	成果の方向性	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
投入資源の方向性	事業費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
	労働費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
今後の取組方針	<input checked="" type="radio"/> A 見直して継続 <input type="radio"/> B 現状のまま継続			
	見直しの方向性	<input type="checkbox"/> 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大	(実施時期 : H	年度)
		<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善	(実施時期 : H	年度)
		<input type="checkbox"/> 対象・水準等の見直し	(実施時期 : H	年度)
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	(実施時期 : H	年度)
		<input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大	(実施時期 : H	年度)
<input type="checkbox"/> 市民等との協働を今後導入・拡大	(実施時期 : H	年度)		
<input checked="" type="checkbox"/> その他	(実施時期 : H	30 年度)		
方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)	ふれあいスポーツ大会については、障害のある人の社会参加の機会となるため、今後も継続し、より一層の周知を図り、ボランティアなどの参加等を促進していく。 スポーツ・レクリエーションの集いについては、平成30年度から市が実施していくにあたり、障害者理解を促進していくため、障害のある人もない人も参加できる事業として、具体的な方法・内容について検討していく。			